

## おかやま I T 経営力大賞

I T (情報技術) を活用し業績や顧客サービスを向上させている企業を表彰する「おかやま I T 経営力大賞」(岡山県経済団体連絡協議会などで行う実行委員会主催、事務局・システムエンジニアリング岡山)に、本年度は岡山市内の6社が入賞した。25日に岡山市内で表彰式がある。大賞と優秀賞に選ばれた4社の取り組みを紹介する。

### 大賞

倉敷青果荷受組合 (倉敷市西中新田)



I T を活用した受注システムで、誤配送防止や納品の迅速化などを図った倉敷青果荷受組合

## 業務需要拡大に対応

倉敷地方卸売市場 荷受業者。食生活の変化(倉敷市西中新田)の化で総菜や弁当といった中食、外食など業務の約3割を占める主力事  
業の一つに成長。事業所  
向きの需要が増える  
中、1998年にカット  
野菜事業に参入。取  
引先の拡大を視野にI  
T化を進めた。  
オンラインの受注シ  
ステムを構築し、商品  
リストやあて名シール  
を作るシステムとも連  
動。従来のファクス受  
注に比べ、誤配送防止  
や納品の迅速化などが  
図れ、顧客の信頼アッ  
プや新規取引につなが  
った。作業時間の短縮  
によるコスト削減も実  
現できたという。  
現在、カット野菜の  
売上高は17億円で全体  
需要先と産地との直接  
取引の拡大などで経営環  
境が厳しさを増す中、I  
T活用で、仲介機能とい  
う従来の市場業務を超え  
たビジネスモデルが確立  
できた。富本尚作常務。

(大河原三恵)

## 優秀賞

プライム (倉敷市西中新田)

業務の効率を上げるとともに、複雑な原価を正確・迅速に把握。工事の確実さと顧客からの信頼を高め、01年に223件だった年間施工件数は、09年には2・7倍の618件に増えた。  
井神俊郎社長は「作業員が社外から予定表を見られるようにするなどより使いやすいシステムに向けて改良を重ねたい」と話す。(玉川貞広)

### 作業予定や原価管理し受注拡大

雨漏りの修繕や塗装工事の専門業者。2001年の会社設立とほぼ同時に経営のI T化を推進。作業予定や原価をコンピュータシステムで管理し、受注の拡大につなげている。  
工期が1〜2日程度の小口工事を多く抱え、1人の作業員が1日に複数の現場を掛け持つこともある。作業員の配置といった1日のスケジュールをコンピュータで組むことで

城口 (岡山市北区久米)

前と比べ約3割アップ。1人当たりの年間工事件数も大きく伸びるなど成果が出ている。  
ソフトを自社で開発しているのが特徴。城口隆社長は「使い勝手が良いように作ることができ、社内での普及が早く活用度も高い」と利点を説明。蓄積した顧客情報を生かし、今後は住宅リフォーム分野にも力を入れるという。(佐藤貴宏)

### 見積もりや日報データベースに

建築請負や内装仕上げ、インテリア用品販売を手掛ける。見積もりや日報などあらゆる社内業務をデータベース入力で行えるよう、システム構築やソフト開発を進めている。  
社員一人一人の業務状況や顧客情報を全社で共有する体制が整い、社内でのコミュニケーションが活発化。顧客対応レベルも向上し、既存客からの注文件数(リピート率)は5年

三友土質エンジニアリング (岡山市中区神下)

住宅の地盤調査や地盤改良が主業務。本社技術部が設計する図面を全社で共有できる文書管理システムを昨年導入、各営業所からインターネットを介し閲覧できる環境を整えた。  
導入後、1件の設計を1人が担当していた仕事の流れが変化。共同作業で仕上がりが早くなり、人によつてばらつきがあった業務量が標準化された。販売管理システムと連動させて売り上げへの貢献度も分かるようになり、技術者の意欲が高まったという。  
営業部門は大型案件を積極的に受注し、本年度売上高は前年度比1割増の30億円にアップ。斎藤直樹社長は「仕事の成果が見えるようになり、歯車がいい方向に回り始めた」と強調する。(長田憲司)

### 全社で図面共有仕上がり迅速化